

令和6年度 日本大学生産工学部 校友子女選抜募集要項

1 出願資格・要件

次の①、②及び③の要件を満たす者

- ① 大学入学資格を有し、本学への入学を第一希望とする者で、次の（ア）～（エ）のいずれかに該当する校友の子女（法定血族を含む2親等内直系血族）である者。ただし、法定血族の場合は、大学入学年度の3年前の4月1日以前に養子縁組をしていること。
 - （ア） 以下に示す、学校法人日本大学寄附行為施行規則第7条に規定する「学校法人日本大学が設置する学校」を卒業または修了した者。
[学校法人日本大学が設置する学校]
 - ・ 日本法律学校・高等工学校及び工業専門学校・東洋歯科医学校及び歯科医学校
 - ・ 東京獣医学校・専門学校令による専門学校、専門部、高等師範部、高等専攻科及び師範専修科・東京高等獣医学校及び東京獣医畜産専門学校・専門学校令による大学・大学令による大学及び予科、大学院及び選科・学校教育法（新学制）による大学、大学院及び短期大学
 - （イ） 学校法人日本大学が設置する学校に勤務を有する専任教職員または専任教職員であった者。
 - （ウ） 学校法人日本大学の役員または役員であった者。
 - （エ） 学校法人日本大学の特別附属・準付属校を設置する法人に勤務を有する専任教職員または専任教職員であった者。ただし、特別附属・準付属校を設置する法人は、令和5年4月1日現在のものとする。
- ② 日本大学生産工学部への入学を第1希望とする者。
- ③ 合格した場合、本学部に入学することを確約できる者。

2 募集学科・募集人員

機械工学科	}	各学科合わせて9名
電気電子工学科		
土木工学科		
建築工学科		
応用分子化学科		
マネジメント工学科		
数理情報工学科		
環境安全工学科		
創生デザイン学科		

※合格基準に達しない場合には、合格者数が募集人員に満たない場合があります。

3 出 願 手 続

日本大学インターネット出願サイトにアクセスし、出願登録と入学検定料の納入を行ってください。インターネット出願サイトへのアクセス方法は、別紙「日本大学・日本大学短期大学部インターネット出願の利用手順」を参照してください。

入学検定料納入後、インターネット出願サイトから「宛名ラベル」及び「①出願確認票」をプリントアウトし、市販されている封筒に「宛名ラベル」を貼付の上、プリントアウトした「①出願確認票」と以下の書類（②～④）を封入し、必ず簡易書留で郵送（必着）するか、生産工学部入試センターへ直接持参してください。

① 令和6年度日本大学出願確認票（大学送付用）

※ 別紙「日本大学・日本大学短期大学部インターネット出願の利用手順」を参照してください。

② 校友子女確認書（日本大学校友会確認済のもの）

③ 志望理由書（同封のもの）

④ 出身学校調査書等

※ 高等学校卒業程度認定試験に合格した者等で調査書を提出できない受験者の書類審査については、本試験に出願した全志願者の平均点と同評価とします。

⑤ 入学検定料 35,000 円

※ 別紙「日本大学・日本大学短期大学部インターネット出願の利用手順」を参照してください。

※ インターネット出願サイトでの入力だけでは正式な出願手続完了とはなりません。出願書類が本学で受理されて初めて正式な出願となりますので、必ず出願書類を生産工学部入試センターへ提出してください（出願締切日必着）。

※ 受験に際し、病気・負傷や障がい等のために、受験・就学上の配慮を希望される場合は、出願前のできるだけ早い時期に必ず日本大学生産工学部入試センターにお問い合わせください。

4 出 願 期 間（出願書類提出期間）

令和5年9月21日（木）～9月29日（金） 《必着》

※窓口受付時間（10：00～16：00）

【校友子女確認書の確認手続き締切日は9月15日（金）です。《必着》】

5 出願書類の送付先

〒275-8575 千葉県習志野市泉町 1-2-1

日本大学生産工学部入試センター 電話：047-474-2246

6 選 考

書類審査、基礎学力検査（英語・数学）、面接。合否判定は総合点によるものではなく、各項目に基準を設けて行います。

① 日 時 令和5年10月7日（土） 10時00分～

② 場 所 日本大学生産工学部津田沼キャンパス

③ 選考方法 (1) 書類審査（出身学校調査書等）【配点100点】

※提出書類の各項目について総合的に評価します。

(2) 基礎学力検査（英語・数学）合わせて120分

【配点各100点・合計200点】

※基礎学力検査の出題範囲は以下のとおりです。

英語：コミュニケーション英語Ⅰ，コミュニケーション英語Ⅱ，英語表現Ⅰの範囲からの出題で，教科書の問題レベル

数学：数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B（確率分布と統計的な推測を除く）の範囲からの出題で，教科書の問題レベル

(3) 面 接【配点100点】

7 合格発表

令和5年10月17日（火） 正午（電話等による問い合わせには応じません）

合格発表日から入学手続締切日まで、「インターネットによる合否案内」を実施していますので、インターネット出願の「マイページ」内の「合否案内」より確認してください。なお、誤操作・見間違い等を理由とした入学手続期間終了後の入学手続は一切認めません。

8 入学手続締切日

令和5年10月27日（金）

※注意1… 入学手続完了後（入学手続時納入金を全額納入した後）に、やむをえない理由によって本学への入学を辞退する場合は、電話により令和6年1月31日（水）17時までに日本大学生産工学部入試センターへ申し出てください。申し出を受理しますと、「入学辞退願」を本学より送付いたしますので、必要事項を記入の上、速やかに返送してください。手続き終了後、入学金を除く入学手続時納入金（諸会費等を含む）は返還いたします。ただし、いったん提出された書類及び入学金は返還いたしません。なお、令和6年2月1日（木）以降に申し出があった場合は、書類及び入学金を含む入学手続時納入金は返還いたしません（傷害保険については、約款の定めるところによる）。

《注意》

- ① 入学辞退の申し出受理に際しては、直接本人の意思確認をさせていただきます。
- ② 入学辞退の申し出を、本学が受理した後の辞退の取り消しは認めません。
- ③ 「入学辞退願」が提出されない場合、入学金を除く入学手続時納入金の返還手続きができませんので、必ず提出してください。

※注意2… 校友子女選抜は本学部を第一志望とする者に対する試験であることから、合格後に他大学および日本大学の他学部の入学試験を併願することはできませんのでご注意ください。

9 入学手続時納入金（一括1,000,000円）

（内訳）

項目	年 額	入学手続時納入金 （前期）	9月納入金 （後期）	摘 要
入 学 金	260,000 円	260,000 円	— 円	入学時のみ納入
授 業 料	1,100,000	550,000	550,000	毎年度同額納入
実 験 実 習 料	80,000	40,000	40,000	2年次は9万円 3・4年次は10万円
施 設 設 備 資 金	220,000	110,000	110,000	1～4年次同額納入
維 持 会 費	30,000	30,000	—	毎年度同額納入
校友会費（準会員）	10,000	10,000	—	毎年度同額納入
合 計	1,700,000	1,000,000	700,000	

（備考）① 1年次後期分以降の納入期限は、後期分9月30日、前期分4月30日となります。

（ただし、土・休日の場合は金融機関前営業日）

② 卒業年度に校友会費（正会員）初年度分を1万円納入。

10 入学前学習

本学部では、総合型選抜及び学校推薦型選抜等によって早期に入学が決定した方を対象に、大学での学修に対する準備及びみなさんの大学生活をより充実したものにすため、入学前に行うプログラムをご用意しています。

令和5年度は、数学のスクーリングや映像授業による自宅学習のほか、各学科から専門分野に関する課題等を実施いたしました。

【各学科設置のコース・プログラムについて】

機械工学科（3コース設置）

- ①自動車コース ②航空宇宙コース ③ロボット・機械創造コース

電気電子工学科（2コース，2プログラム設置）

- ①エネルギーシステムコース
②エネルギーシステムコース（クリエイティブエンジニアプログラム）☆
③eコミュニケーションコース
④eコミュニケーションコース（クリエイティブエンジニアプログラム）☆

土木工学科☆

建築工学科☆

応用分子化学科（2コース設置）

- ①応用化学システムコース ②国際化学技術者コース☆

マネジメント工学科（3コース設置）

- ①ビジネスマネジメントコース ②経営システムコース ③フードマネジメントコース

数理情報工学科（3コース設置）

- ①シミュレーション・データサイエンスコース ②メディアデザインコース
③コンピュータサイエンスコース☆

環境安全工学科（2コース設置）

- ①環境安全コース ②環境エネルギーコース

創生デザイン学科（2コース設置）

- ①プロダクトデザインコース ②空間デザインコース

※ 各学科のコース分けは入学後に希望調査等を実施し、決定されます。

※ 「☆」のコース、プログラムはJABEE（日本技術者教育認定機構）により国際的な要求水準を満たした技術者教育プログラムであることを認定されたコース、プログラムです。

※ コースについては変更される場合があります。

【JABEE（「日本技術者教育認定機構」認定プログラム）】

日本技術者教育認定機構（JABEE：Japan Accreditation Board for Engineering Education）は理工系・農学系大学における技術者教育プログラムの審査と認定を統一的基準に基づいて行うものであり、1999年11月に設立されました。この技術者教育プログラム認定の目的は教育の質を高め、わが国の国際的な同等性を確保することにあります。すなわち、JABEEの審査を受け、要求する基準を満たしていることが認定されれば、その教育プログラムは国際水準に認められたこととなります。いいかえれば、そのプログラム修了者は、国際的に通用する技術者に必要な基礎教育を完了したものと見なされます。（<http://www.jabee.org/>）

【選抜制スペシャルプログラムについて】

本入学者選抜に合格して入学した場合、所属学科の学びにプラスして以下の4つのプログラム、Glo-BE（グローバル・ビジネスエンジニア人材育成プログラム）、Entre-to-Be（事業継承者・企業家育成プログラム）、Robo-BE（ロボットエンジニア育成実践プログラム）、STEAM-to-BE（好奇心からイノベーションへつなげるモノづくり人材育成プログラム）から選択して、学べます。

○ Glo-BE（グローバル・ビジネスエンジニア人材育成プログラム）

ビジネスエンジニアリングをグローバルな視点から見ることができる技術者の育成を目的として、世界中のどこでもたくましく活躍できる力を1年半で身につける、少数精鋭（全学科で約50名）のスペシャルプログラムです。

○ Entre-to-Be（事業継承者・企業家育成プログラム）

技術力、経営力、創造性を駆使し、次世代社会の発展を目指す経営者の育成を目的として、「将来は自分で会社を経営したい」「親の会社をいずれ継ぐことになる」など、事業継承者、企業家をめざす人材に必要な力を1年半で身につける、少数精鋭（全学科で約60名）のスペシャルプログラムです。

○ Robo-BE（ロボットエンジニア育成実践プログラム）

創造性と実用性を兼ね備えたロボット技術者の育成を目的として、ロボットの仕組み、制御、ロボットの創造に必要な理論や知識を2年半で身につける、少数精鋭（全学科で約30名）のスペシャルプログラムです。

○ STEAM-to-BE（好奇心からイノベーションへつなげるモノづくり人材育成プログラム）

科学・技術・工学・数学の教育分野をもとに「Artの視点（創造的な視点）」をもって課題解決できる人材の育成を目的として、将来イノベーションに貢献できる力を1年半で身につける少数精鋭（全学科で約30名）のスペシャルプログラムです。

【個人情報の保護について】

日本大学（短期大学部を含む）では、出願書類に御記入いただきました志願者の氏名・住所等の個人情報は、入学試験の出願受付、実施、合格発表、さらには入学に至る一連の手続と、日本大学で学生生活を始めるに当たって必要となる書類・お知らせ等の送付及び入学者データの統計処理のために使用いたします。

なお、日本大学はこれらの業務の一部を業者に委託する場合があります。この場合、日本大学及び当該業務の委託を受けた業者は、上記利用目的の達成に必要な範囲を超えて志願者の個人情報を利用することはありません。

〒275-8575 千葉県習志野市泉町1-2-1
日本大学生産工学部
電話 047(474)2246